



環状道路の形成が
更なる地域の発展へ



松阪多気バイパスの ストック効果

令和4年2月

国道42号 松阪多気バイパス整備効果検討会



三重県



松阪市



多気町



国土交通省

目次

概要

- 事業概要 P1
- 位置図 P2

渋滞緩和・踏切解消・交通安全

- 中心市街地の渋滞緩和が期待！ P3
- 踏切による遮断が「ゼロ」に！ P4
- 中心地市街地の死傷事故率が5割も減少！ P5

産業支援

- 企業の生産性向上を支援！ P6
- 地域産業の更なる発展を支援！ P7
- 集積する物流施設 市内の「ものづくり」を支援！ P8
- 沿線に立地が進展 バイパスを利用し企業が連携！ P9
- 世界トップシェア製品の輸送を支援！ P10

観光支援

- 国内最大級滞在型複合施設へのアクセスを強化！ P11

沿道開発

- 宅地開発が進み定住人口が増加！ P12
- 企業の沿線進出と地域の雇用創出！ P13

生活交通の支援

- 買物など日常生活に便利なバイパスルートが誕生！ P14
- 安心して高度な医療を受けることができるまちに！ P15

事業概要

国道42号松阪多気バイパスは、松阪市街地の環状機能を併せ持ち、市街地の慢性的な交通渋滞の緩和を目的に計画された、三重県松阪市古井町から多気郡多気町仁田に至る延長11.9kmの幹線道路です。

松阪多気バイパスは、平成29年度の松阪市下蛸路町から八太町間(延長1.1km)の開通により、現道活用区間を含め、全線が暫定2車線で繋がりました。

松阪多気バイパスが繋がることにより松阪市街地を迂回するネットワークが形成され、渋滞・交通事故の減少はもとより、企業活動の生産性向上・沿道開発の促進など様々な整備効果が期待されます。



虹が丘1交差点付近から多気町方面を望む

◆計画の概要

事業区間：三重県松阪市古井町まつさかしこいちょう～多気郡多気町仁田たきぐんたきちょうにた

全体延長：11.9km

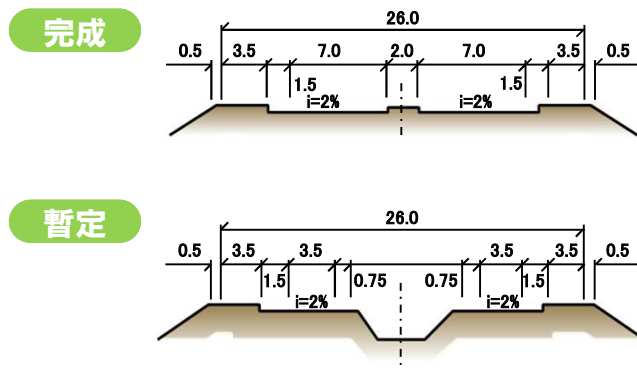
規格：3種1級

設計速度：80km/h

車線数：完成4車線(暫定2車線)

◆標準断面図

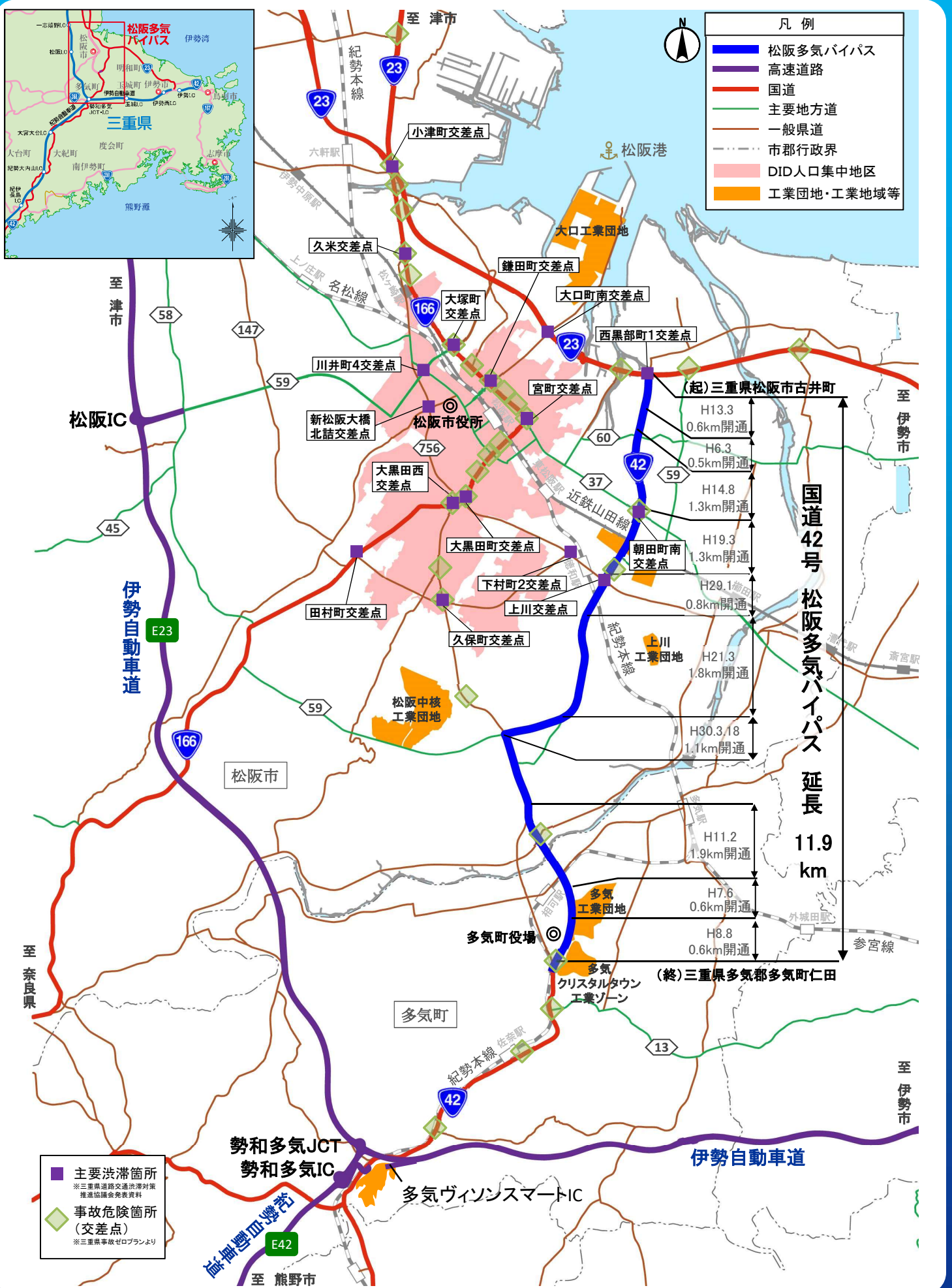
単位：m



◆松阪多気バイパスのあゆみ

昭和62年度	松阪市射和町～多気町仁田	事業化	
平成元年度	松阪市古井町～松阪市射和町	事業化	
平成7年度～平成10年度	松阪市射和町～多気町仁田	開通[延長3.1km]	
平成5年度～平成14年度	松阪市古井町(国道23号)～朝田町(県道37号)	開通[延長2.4km]	
平成18年度	松阪市朝田町(県道37号)～上川町	開通[延長1.3km]	
平成20年度	松阪市虹が丘町～下蛸路町	開通[延長1.8km]	
平成28年度	松阪市上川町～虹が丘町	開通[延長0.8km]	
平成29年度	松阪市下蛸路町～八太町	開通[延長1.1km]	※現道活用区間[延長1.4km]を含め全線暫定2車線で開通

位置図

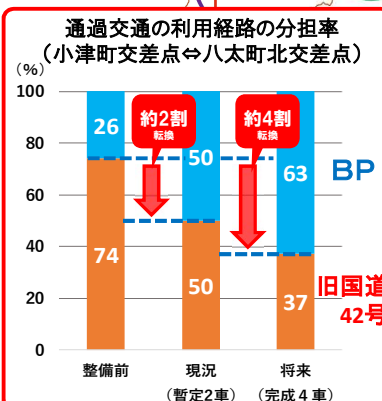
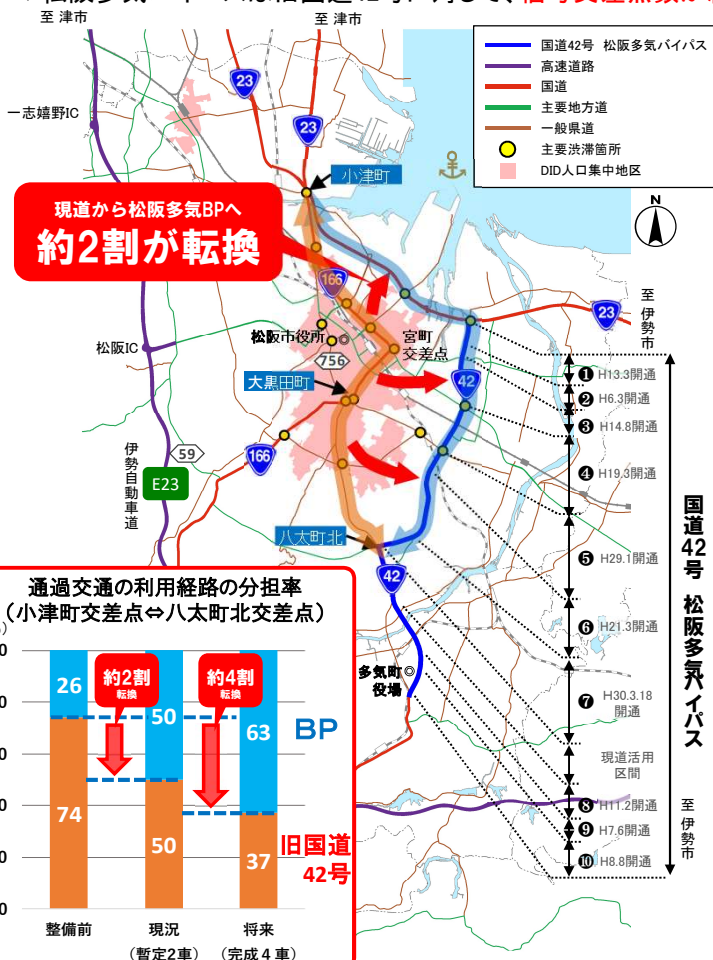


渋滞緩和

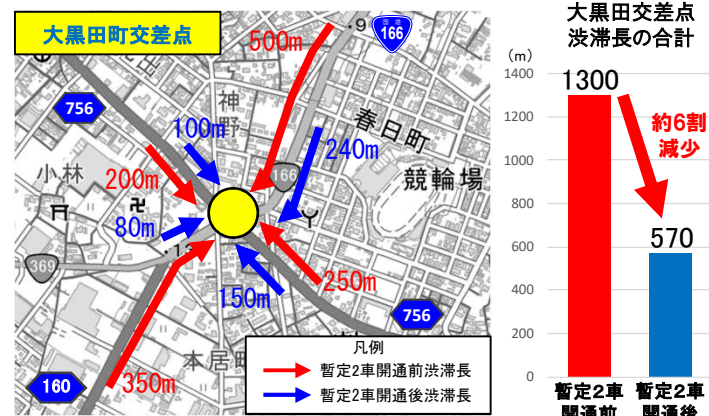


国道42号 宮町交差点

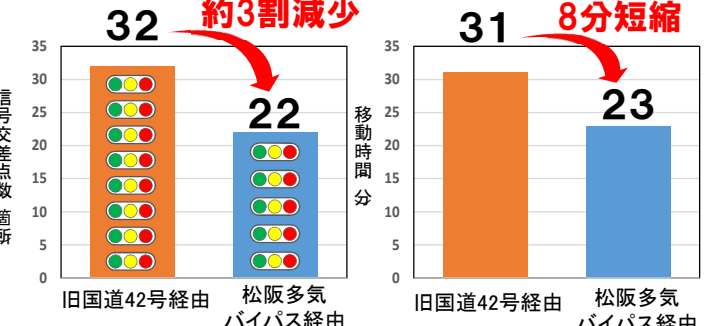
- ❖ 松阪多気バイパス全線開通により、多気町方向から津方面の通過交通の50%がバイパスルートを利用。
- 一方で、依然として通過交通の半数が旧国道42号を走行しており、松阪中心市街地では慢性的な渋滞が発生。
- ❖ 松阪多気バイパスの整備により環状機能が強化され、松阪市中心部にある大黒田町交差点の渋滞が約6割減少。
- ❖ 松阪多気バイパスは旧国道42号に対して、信号交差点数が約3割少なく、スムーズな走行が可能に。



大黒田町交差点の渋滞長の変化



小津町交差点から八太町北交差点までの信号交差点数と移動時間



踏切による遮断が「ゼロ」に！



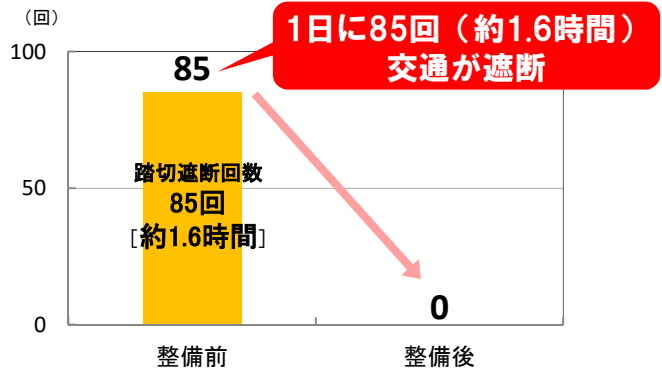
県道59号とJR紀勢本線 第三高田踏切

- ❖ 建設中の松阪多気バイパスと並行する県道59号松阪第2環状線は、JR紀勢本線の踏切により、1日に85回(約1.6時間)交通が遮断。
- ❖ 踏切の遮断による車両の滞留長は1日に延べ約9kmにも及び、通勤や物流に支障。
- ❖ 松阪多気バイパスの整備によりJR紀勢本線と立体交差となったことで、踏切による遮断が「ゼロ」となり、円滑な交通が実現。



松阪多気バイパス整備による踏切遮断回数・滞留長の変化

【平日1日あたりの踏切遮断回数】

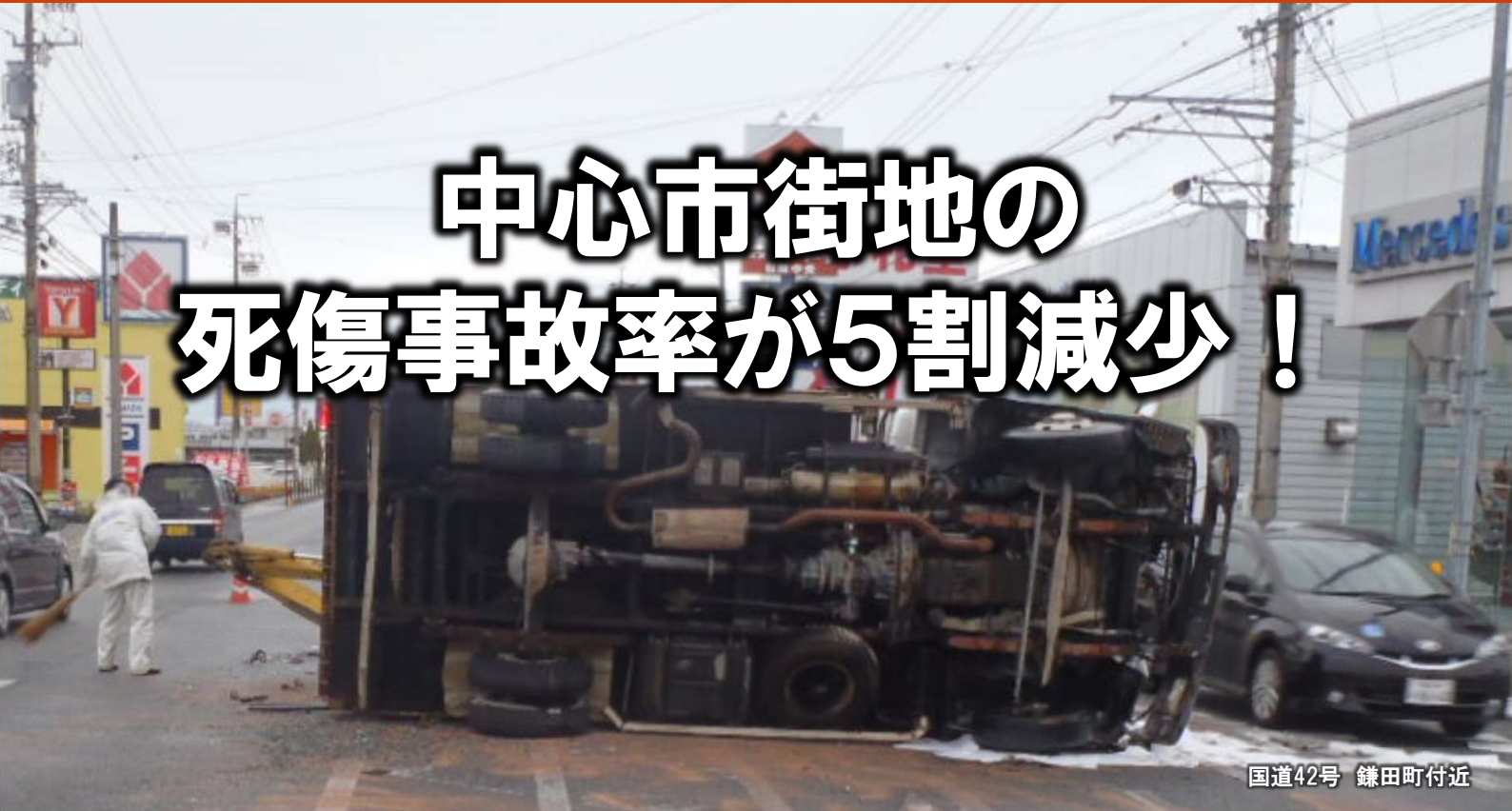


【平日1日あたりの車両の滞留長】



※紀勢国道事務所 踏切実態調査結果より作成
※H28年10月18日 5時~23時(平日)

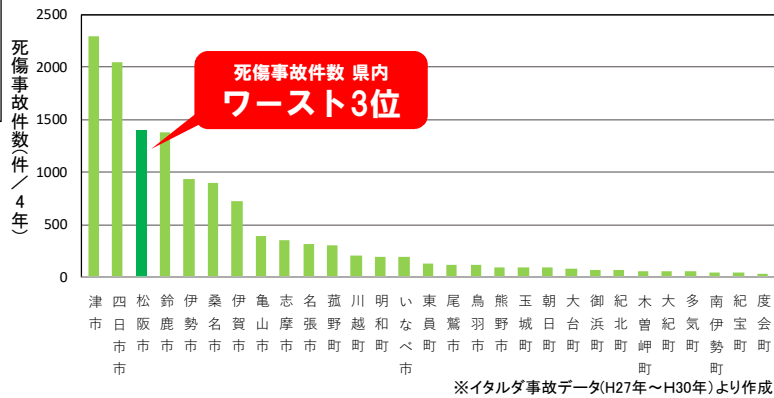
中心市街地の 死傷事故率が5割減少！



国道42号 鎌田町付近

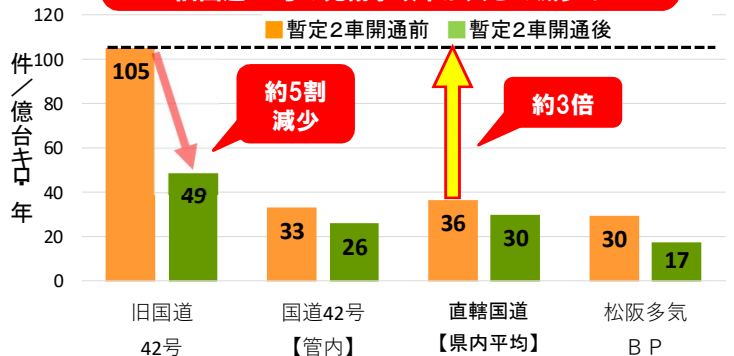
- ❖ 松阪多気バイパス開通前の松阪市における死傷事故件数は三重県内ワースト3位となっており、また、旧国道42号の死傷事故率は県内直轄国道平均の約3倍でした。
- ❖ 松阪多気バイパスの全線開通後は通過交通が転換することにより、松阪中心市街地における死傷事故率が約5割減少、松阪多気バイパスの4車線化によりさらなる死傷事故率の減少に期待。

三重県における死傷事故件数のワースト順位

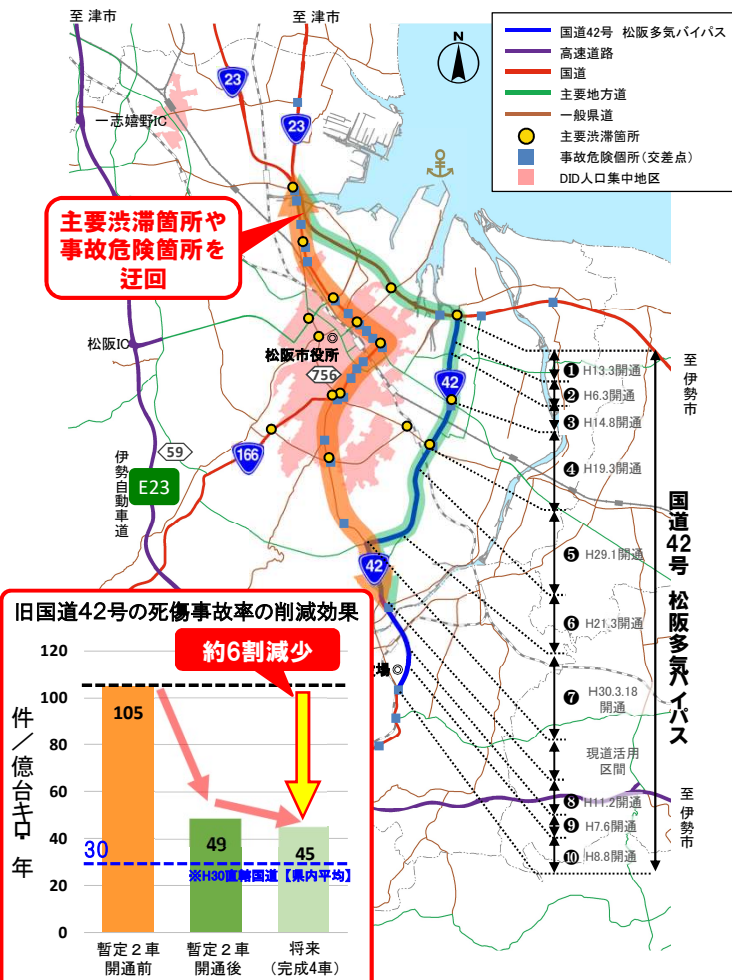


松阪市における死傷事故率の変化

旧国道42号の死傷事故率が大きく減少！



※暫定2車開通前：交通事故統合データベース（H27年~H29年平均値）
暫定2車開通後：交通事故統合データベース（H30年）



※暫定2車開通前：交通事故統合データベース（H27年~H29年平均値）
暫定2車開通後：交通事故統合データベース（H30年）
将来（完成4車）：将来交通量により推計

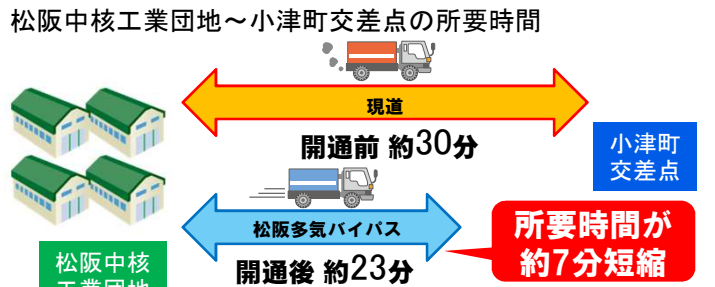
企業の生産性向上を支援！

松阪中核工業団地

- ❖ 110haの広大な敷地に25社が立地し、約2,000人が働く地域の生産・流通のネットワーク拠点である松阪中核工業団地。
- ❖ 松阪多気バイパスの整備により、松阪中心市街地を迂回する信頼性の高い物流ネットワークが形成され、工業団地内に立地する企業の生産性向上を支援。
- ❖ 松阪多気バイパス整備開始以降に松阪市と多気町に新たに立地した工場の立地理由に交通の良さを挙げる企業が多い。



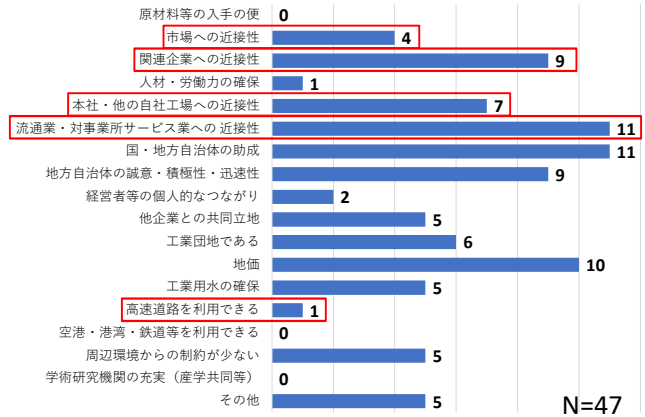
松阪多気バイパス整備による所要時間の変化



※ETC2.0の平日昼間12時間上下線平均より作成
開通前:H30.3.1(木)～H30.3.17(土) 開通後:H30.5.1(火)～H30.5.31(木)

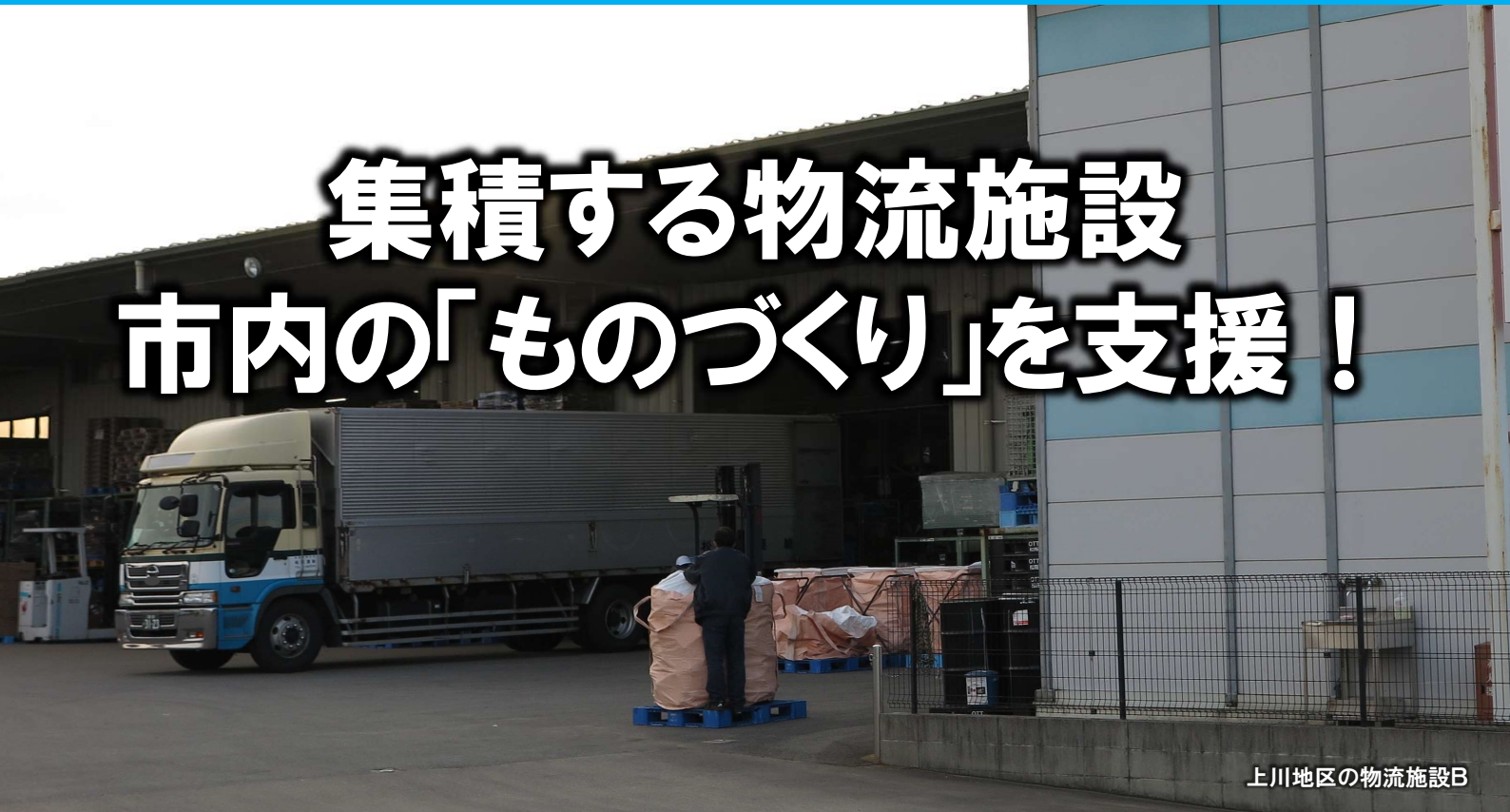
松阪市と多気町の工場立地選定理由(H6以降)

立地理由に「関連企業への近接性」、「流通業・対事務所サービス業への近接性」等、交通の便の良さを理由に挙げる工場が多い



※工場立地動向調査(H6～H29)より作成

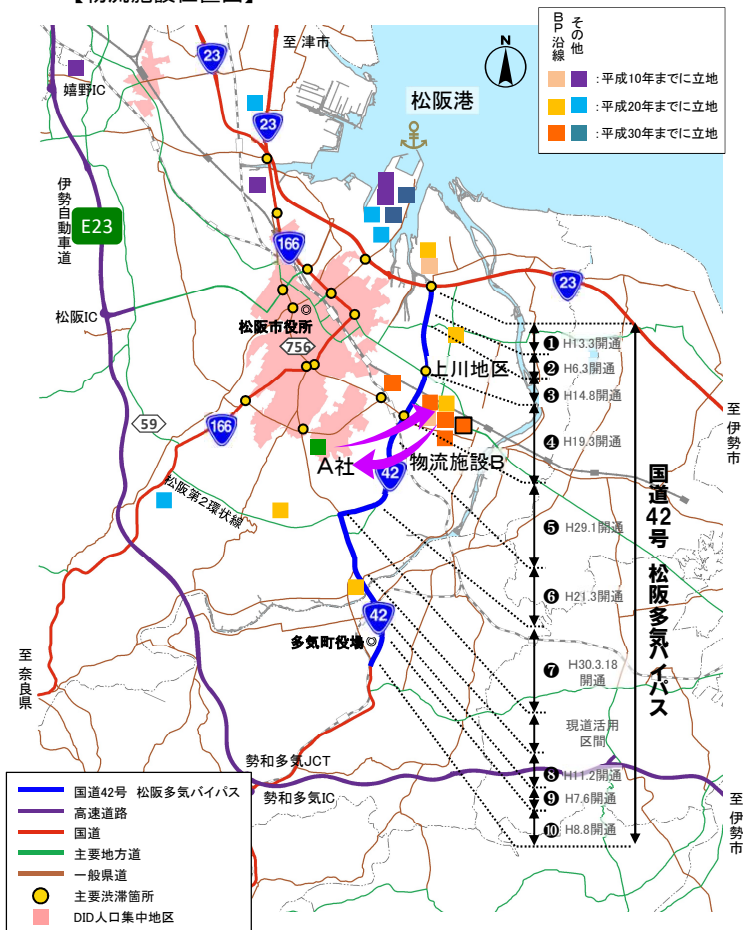
集積する物流施設 市内の「ものづくり」を支援！



上川地区の物流施設B

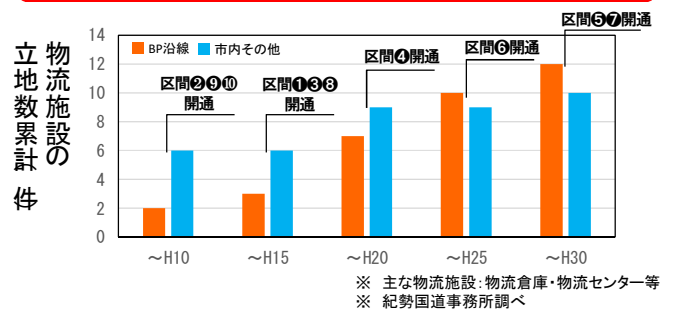
- ❖ 松阪多気バイパスの沿線では、近年、バイパス整備とともに、物流倉庫や物流センターなどの物流施設が進出。
- ❖ 上川地区では、部品の在庫管理や供給を行う、市内の製造工場などの「ものづくり」を支援する物流施設が多数立地。
- ❖ 血圧計世界シェアNO.1のA社は、効率的な生産の為に工場内で実施していた部品の在庫管理を、松阪多気バイパス供用を見越して、H27年に立地した物流施設Bに委託。

【物流施設位置図】



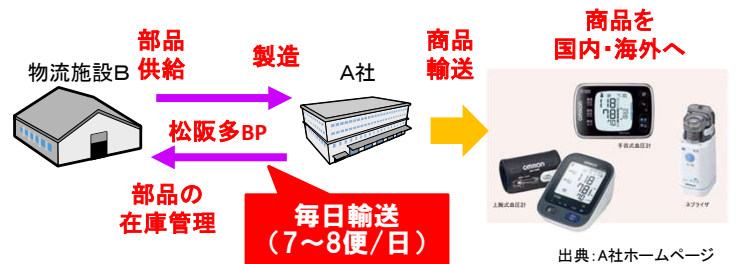
松阪市の主な物流施設の立地状況

バイパスの整備とともにBP沿線への立地が進む



松阪多気バイパスを利用した支援の事例

ものづくり支援事例



輸送商品は繊細な物のため、H28年度開通により、走行性が高まったことは非常にありがたいです。暫定全線開通により、部品供給の増便も検討できます。



【物流施設Bの声】

※紀勢国道事務所ヒアリング調査より作成

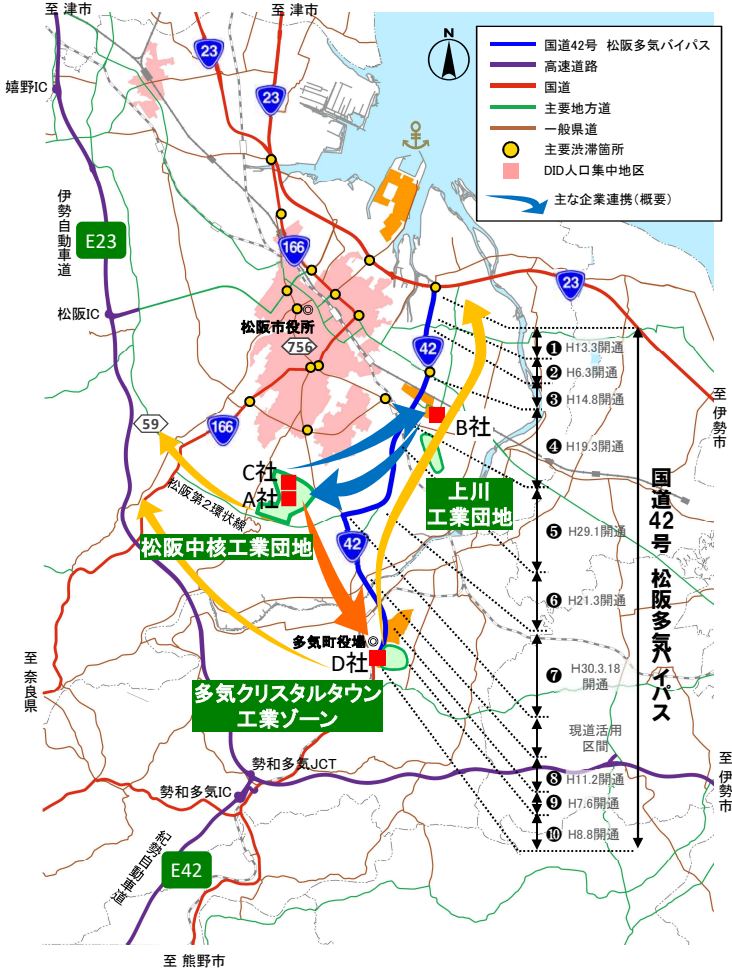
沿線に立地が進展 バイパスを利用し企業が連携！



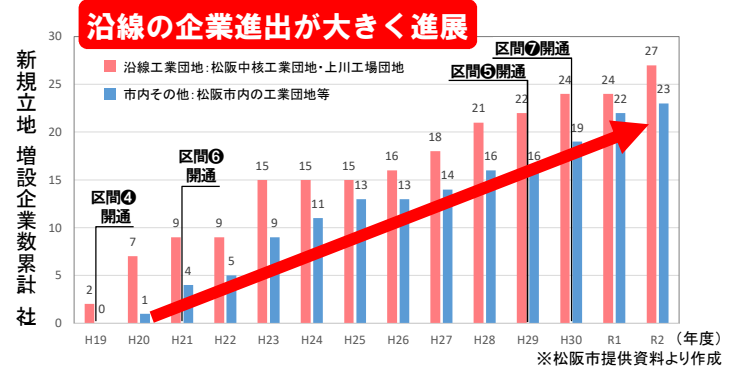
松阪多気バイパスを利用する物流車両

- ❖ 上川工業団地や松阪中核工業団地では、松阪多気バイパスの整備とともに企業の新規立地・増設が堅調。
- ❖ 世界シェアトップレベルの自動車部品メーカーA社は、松阪多気バイパスを利用して、沿線の工場、関連会社B社と連携。
- ❖ また、松阪多気バイパス沿線の医薬品メーカーD社と、国内トップクラスの油脂類製造メーカーC社は、商品開発で連携して新たにハンドクリームを商品化。

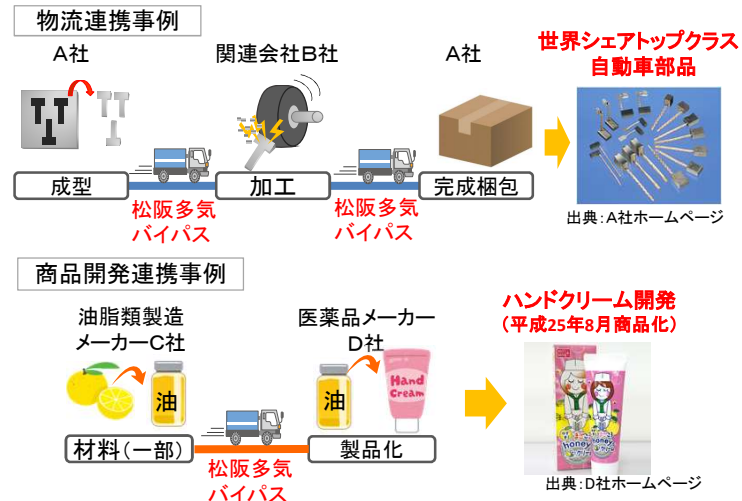
【市内の主な企業連携イメージ】



松阪多気バイパス沿線工業団地の企業進出状況



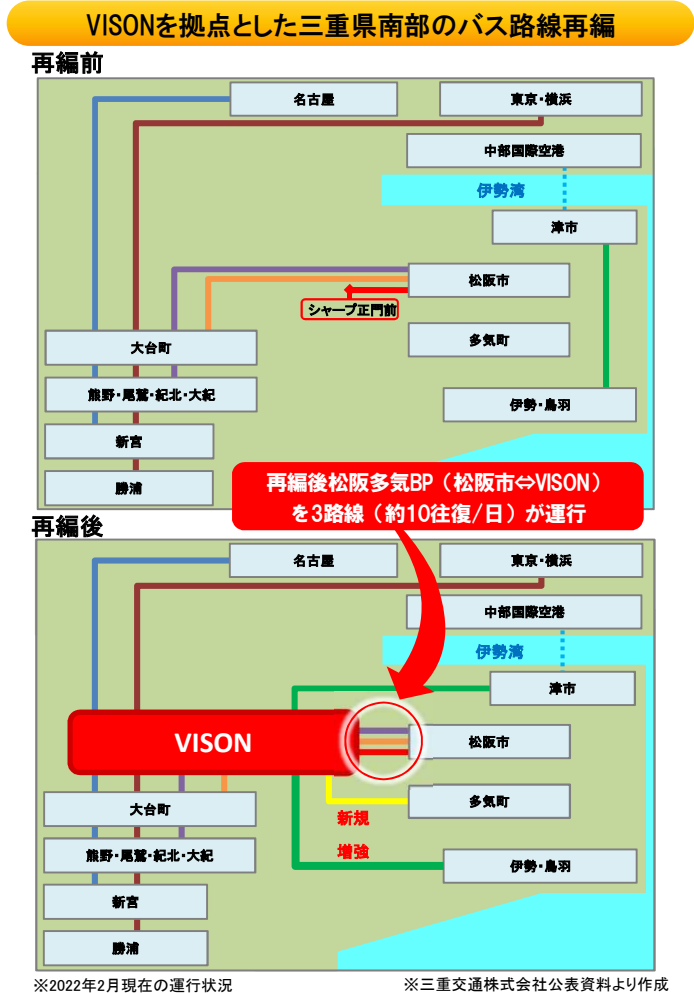
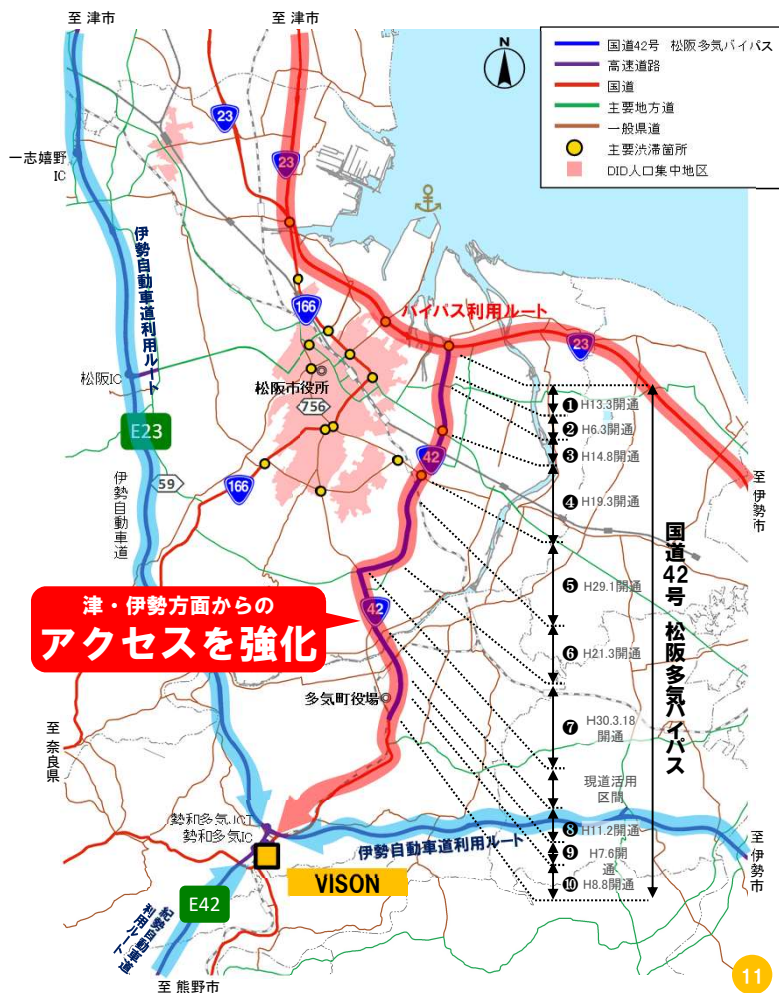
松阪多気バイパスを利用した企業連携の事例



国内最大級滞在型 複合施設へのアクセスを強化！



- ❖ 2021年夏、国内最大級の滞在型複合施設「VISION[ヴィゾン]」が多気町に開業。
- ❖ 松阪多気バイパスの整備により、多くの来場者が見込まれるVISIONへのアクセスルートが強化することで、スムーズな来場と地域活性化を支援。
- ❖ VISION内のバスターミナル整備とバス路線の再編により、VISIONを中心とした公共交通ネットワーク(7路線が運行)を整備、うち3路線が松阪多気BPを利用。(松阪市⇄VISION間を約10往復/日が運行)



宅地開発が進み 定住人口が増加！

松阪市 虹が丘町

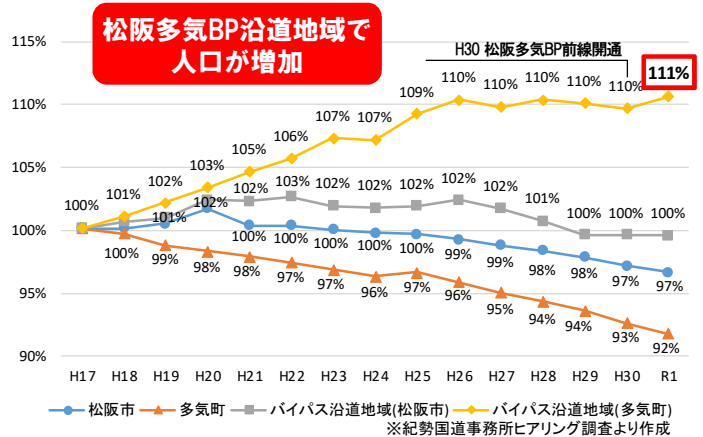
- ❖ 松阪多気バイパスの沿道地域(多気町)では平成17年から令和元年にかけて**11%人口が増加**。
- ❖ その中でも多気町役場周辺では住宅団地が形成されるなど特に人口の増加率が高い。

【松阪多気バイパスの整備による変化】



出典:国土地理院空中写真

松阪多気BP沿道の人口推移



松阪多気BP周辺の人口推移(H27年/H12年)

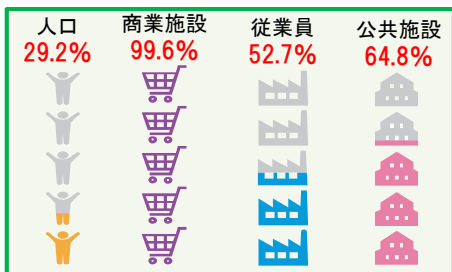
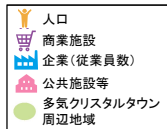


企業の沿線進出と 地域の雇用創出！



- ❖ 松阪多気バイパスの整備と合わせ、多気町では「住居、商業、工業、公共施設等」が集積したコンパクトシティがバイパス沿道に形成され、町の面積の約6%の地域に人や施設が集積。
- ❖ コロナ禍においても令和3年以降に新たに3社の工場稼働が決まり、多気町の雇用創出にも大きく貢献し、地域活性化に期待。

多気町の面積の約6%に集積



※多気クリスタルトウン周辺地域: 多気クリスタルトウンを含む松阪多気バイパス沿道の多気町相可・仁田周辺地域

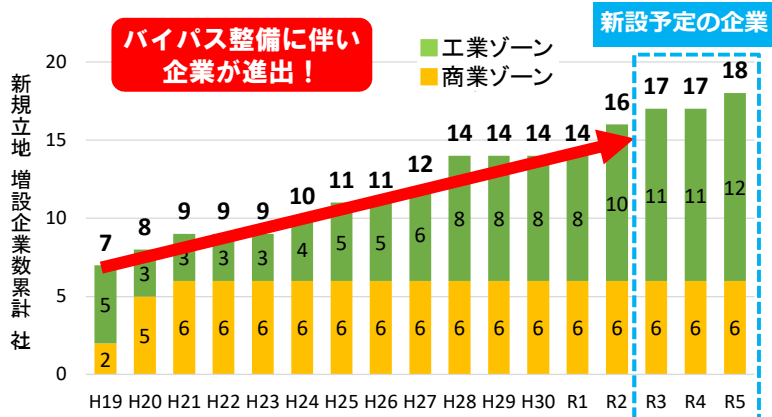
人口: 平成27年国勢調査より作成
商業施設: 多気町内のスーパーマーケットの敷地面積を紀勢国道事務所にて算出
企業(従業員): 平成26年経済センサスより作成
公共施設等: 国土数値情報 都市地域土地利用細分メッシュ(平成26年度)より作成

多気クリスタルトウン工業ゾーン企業立地予定



※多気町提供資料より作成

多気クリスタルトウンへの企業進出状況



令和3年以降新たに稼働予定の3工場の雇用者数

3社合計で 328名 を雇用予定!

【雇用予定人数】

	正社員	パート アルバイト	稼働予定年月
ホクト株式会社	150名	10名	令和3年10月
株式会社ニプロン	100名（内訳不明）		令和5年1月
岡田パッケージ株式会社	57名	11名	令和5年5月

※紀勢国道事務所ヒアリング調査より作成

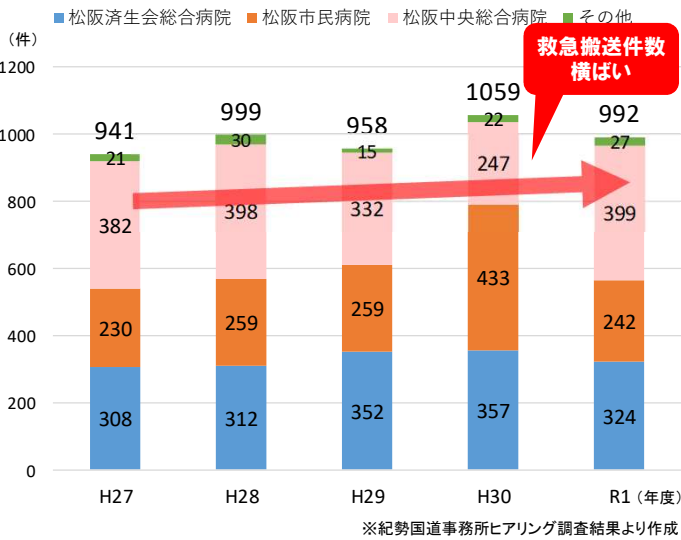
安心して高度な医療を受けることができるまでに！



済生会松阪総合病院

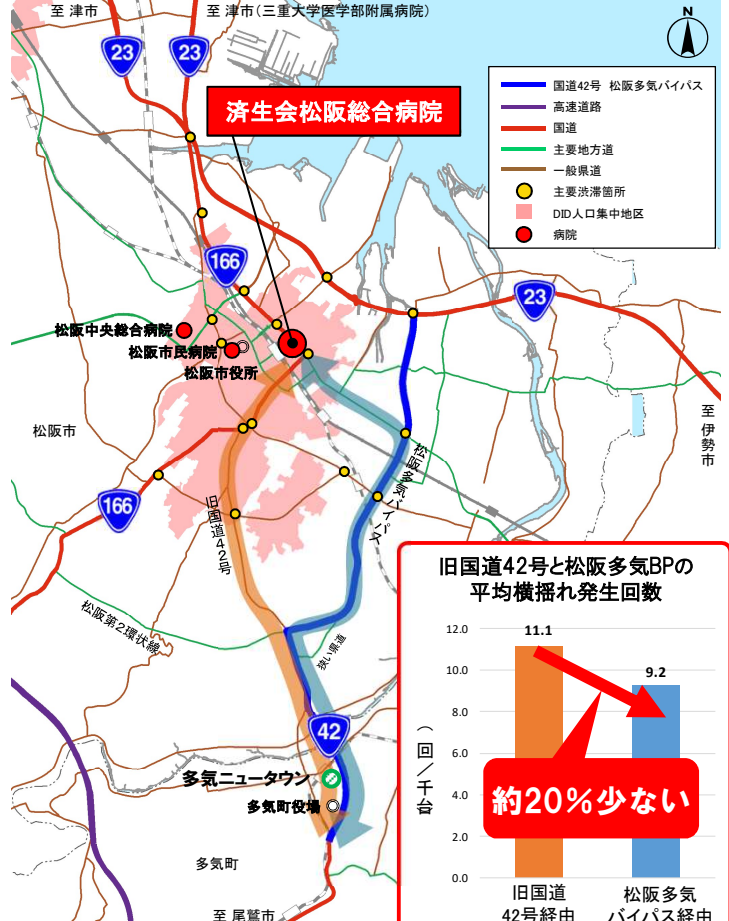
- ❖ 多気町から松阪市内の病院への救急搬送件数は毎年1,000件程度発生。
- ❖ 松阪多気バイパスの整備により、多気町から済生会松阪総合病院への所要時間が3分短縮され、高度な医療が早く受けられるようになる。
- ❖ 松阪多気BPルートは旧国道42号ルートに比べて横揺れが約20%少なく、移動時の患者の負担が軽減される。

多気町からの救急搬送数

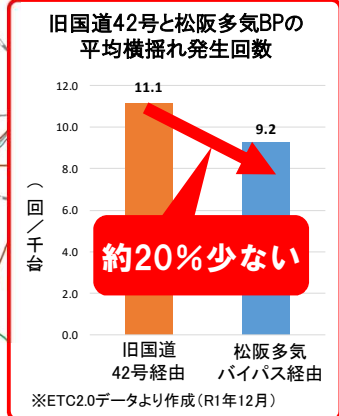
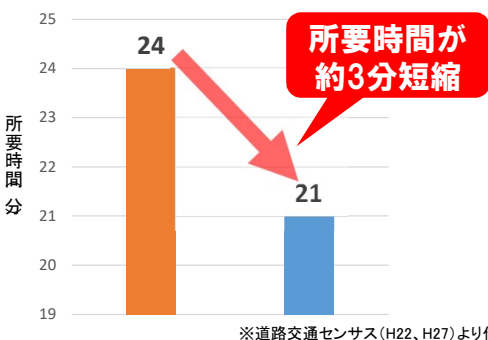


【多気町からの済生会松阪総合病院への利用ルート】

※朝夕の道路混雑状況や現場位置によって利用するルートは変わります。



所要時間の変化(多気町から済生会松阪総合病院)





H29年度開通区間（松阪市下蛸路町）

国道42号 松阪多気バイパス整備効果検討会



三重県



松阪市



多気町



国土交通省